

事業者向けキッズデイあしたば自己評価表 (令和4年12月実施)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境体制	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	2	4		広くはないが、作業などは集中して取り組むことが出来ている。活動内容を工夫し狭さを感じさせないようにしている
	② 職員の配置は適切であるか	6			児童人数に応じた職員配置が確保されている
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6		十分とはいえないが改善するようにしている
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		日々、職員同士での報告・連絡・相談をするようにし、全職員で情報を共有するようにし、改善するようにしている
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者アンケートとして、意向の把握や改善に努めている。モニタリングや送迎時に意見等をうかがうようにしている
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			事業所での掲示とお便りで自己評価表の結果を配布をしている。ホームページでも公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	第三者評価は実施していない
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		受けられる研修を受けてもらうようにしている。受けた研修はミーティングで話をし職員で共有するようにしている
	⑨ アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者からのモニタリングや職員からの聞き取り、児童の様子などを見ながら課題を明確にし、個別支援計画を作成するようにしている

適切な支援の提供

⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		アセスメントシートを作成し使用している
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			活動内容は全職員で話し合いを行っている。子供のレベルに合わせたプログラムを組むようにしている
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	1		活動までの流れなど固定化した方が良いことは固定化し、活動内容は固定化しないように工夫している
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		平日の時間では出来ないことを長期休暇で行うようにしている
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		アセスメントや面談を行い、個別と集団を組み合わせ計画を作成している
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			支援前に必ずミーティングを行い、業務内容の確認、前日の引継ぎを行っている。ミーティングに参加できなかった職員には個別に内容を話すようにしている
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			基本的には業務終了後に振り返りを行っているが困難な場合には翌日に行うようにしている。欠勤している職員には、引継ぎノートを作り確認してもらうようにしている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援記録に利用時の様子を記入し、支援計画に生かすようにしている。支援員にも支援記録に目を通してもらうようにしている
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的に保護者や職員に児童の様子を聞き、個別支援計画の見直しをするようにしている
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動、創作活動など取り入れながら支援を行っている

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているが	3	3		担当者会議には、児童発達管理責任者が参加している。必要に応じ支援員も参加してもらっている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			学校とも連携を取り合い、保護者・学校・事業所間で行き違いがないように努めている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			6	今現在該当する子がいない
	㉓	就学児前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		必要な連携はとっている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			6	今現在該当する子がいない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	2	今は受けていない。今後機会があれば積極的に研修等受けていきたい
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供たちと活動する機会があるか			6	今現在交流する機会を持っていないが、参加できる機会があれば参加していきたい

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	4	コロナ禍の為、様子を見ながら参加できる時には参加するようにしている
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			モニタリング以外でも、送迎時や必要に応じて面談する機会を持つようにしている
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			6	今のところ行っていない
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に丁寧に説明を行っている。その後質問などがあった時にはその都度説明するようにしている
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な支援と助言と支援を行っているか	6			保護者からの相談には随時相談にのるようにしている。場合により面談や助言を行っている
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	コロナが中々落ち着かず、実現できていない
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情受付担当を設置している。今のところ苦情は上がってきていない
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		毎月のお便りやSNSで事業所の情報を発信している
	㉘	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報については鍵付きの書庫に入れ保管している

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			選択肢をいくつか用意し意思の疎通を図るようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	まだ行われていない
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			各マニュアルを作成し、職員に指導している。保護者に向けては面談や契約時に説明している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			月に1回いろいろな事を想定し、避難訓練を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止が義務化されたことにより、職員への研修機会も増やし徹底するようにしている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			身体拘束は基本していません。自傷、他傷行為がある児童には、保護者にも同意を得、個別支援計画書にも記載し静止をかけるようにしている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			アレルギーの聞き取りと、書面でのアレルギーの有・無を提出をしてもらっている。おやつ提供時には成分表示を2重チェック確認し提供している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットを作成し、事例が上がるたびに職員で共有している。